



梅雨に入りました。先日の大雨は大変でしたね。学園橋から続く階段や坂道では、子どもたちより背の高いあじさいが登下校の様子を見守っています。ガクアジサイが色づき始めました。すがすがしい色合いで落ち着きます。

6月19日(金)参観日どうぞお出かけください。～分散参観でのご協力お願いします～

本年度初めての、学習参観の機会を設定しました。分散参観での設定ですので、15分程度と短い設定で申し訳ないですが、ご協力よろしく願いいたします。参観者数によっては工夫して設定時間以外でも参観いただけるかもしれません。各フロアにいる職員が声を掛けますので、相談しながらご参観ください。

(階段踊り場の作品ギャラリー)



湯梨浜町教育委員会計画訪問 ～年に2回のうちの前期訪問～

湯梨浜町の教育長をはじめ教育委員4名、事務局より3名の訪問があり、学校内の様子、子どもたちの学習の様子等を参観いただきました。

学習参観後、学校経営の説明を行い、教育委員さん方より、ご感想や激励の言葉をいただきました。

- 朝の歌声がさわやかで、校舎に入っただけで心地よかった。
- どの学年も落ち着いて学習していた。下学年は姿勢が良く、上学年は意見交換を活発に行っていて良かった。
- ろうかがすっきりしていてよい。児童の作品掲示、教室内外の掲示等が整理してあり、子どもたちの学習環境として、とてもよい環境づくりができていると感じた。
- 電子黒板等の活用も見ることでよかった。新しい教材も入るので、どんどん活用してほしい。
- 今後も地域との双方向での連携を積み上げていってほしい。
- 湯梨浜町の児童の体力づくりを進めていってほしい。
- どんどん対話していく学習を進めていってほしい。
- 支援学級の指導で個に応じた指導の工夫がなされていて、皆学習にがんばっていた。集団での学習を意識した指導など、多様な学習形態も組み入れながら進めてほしい。たくさん応援いただきました。今後とも、よりよい指導を目指し、取り組んでいきます。

ふるさと二景 ～湯梨浜・泊の埋蔵文化財を学習に生かしたい～

石脇第三遺跡、小浜の銅鐸、河口城趾

先日鳥取県埋蔵文化財センターより児童の学習の参考にと、教材や学習案を紹介してくださいました。

いろいろ話を聞いていると、湯梨浜町は埋蔵文化財を活用してたくさん学習が計画できそうなほどいい文化財があることが分かりました。長瀬高浜古墳等有名どころもありますが、泊の遺跡について聞くことができ、驚きました。

・今「石脇第三遺跡」が注目を浴びています。古代(奈良・平安時代)に整備運用された古代の道が石脇を通り、道や通行人をを管理する「駅」と呼ばれる役所があったようです。その遺跡が「石脇第三遺跡」とのことでした。

・ここ泊校区の東側は、因幡の国と伯耆の国の国境でもあり、交通の重要な拠点であったようです。実は小浜からは全国でも出土数の少ない「銅鐸」が発見されています。この銅鐸も国境と関連しており、国の境目での儀式に使われたようだと聞き、自分にとっても新発見でした。青谷の長和瀬に向かう道とはちがう、筒地や絹見経由で青谷に向かう古代道について、興味がわいてきます。

・さらに園の山にある河口城趾の役割も興味深かったです。安土桃山期、鳥取城では吉川経家が籠城し、織田軍豊臣秀吉と対峙していた頃、羽衣石城の南条氏は織田方に味方し、尼子氏の味方だった吉川氏は水軍を使い、河口城から物資を海路で輸送するよう計画していたといわれています。うまくいかなかったけれど、水軍の活躍する河口城が思い浮かびます。

ふるさとの文化財と学習していることを結び、ふるさとについての発見ができるような学習を進めていきたいものです。